



Ecospi Photo  
エコスピフォト

## 串本町「田原の海霧」<sup>うみぎり</sup>

しんと冷え込む早朝、海面にわき立つ霧が朝焼けに染まる。ひとときの現象だが、その神々しさに、まるで天上界へ迷い込んだかの如き錯覚を覚える。熊野古道「大辺路」を代表する風物詩、田原海岸の「海霧」である。海に注ぐ田原川の上流で放射冷却により発生した霧が、川を下りながらその量を増し、暖かい海に注がれ濃霧となって海面を覆う。古より、この南海の彼方に観音浄土「補陀落」<sup>ふたらく</sup>があり、熊野灘の海岸はその入り口であると信じられてきた。この光景に出会えば、確かにそう信じずにはいられないであろう。

写真 / 松山啓一